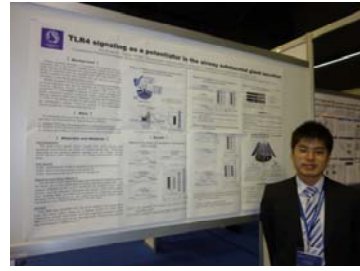


支倉常長フェロー報告書

提出日 年 月 日



申請者	氏名	村上 康司
	所属・職	呼吸器病態学分野・大学院生
出張期間	2010年 9月 16日 〜 9月 23日	
渡航先	スペイン／バルセロナ	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	TLR4 signaling as a potentiator in the airway submucosal gland secretion.	
得られた成果など	私は支倉フェローのご支援のもと、9月18日〜9月22日にスペイン／バルセロナにて開催されたヨーロッパ呼吸器学会に参加させて頂きました。9月20日にはポスターセッションにて上記演題の発表を行いました。 気道分泌は気道防御機構において重要な役割を果たしますが、その調節機序に関しては未解明な点が多いのが現状です。我々の発表は下気道感染時に気道分泌が増加するメカニズムを世界で初めて報告したものです。自然免疫において中心的役割を担うTLRの中で、TLR4が気管支粘膜下腺細胞に発現し、更にLPSを認識することで即時的にイオン電流を惹起し分泌に寄与することをパッチクランプ法にて証明しました。この報告は気道分泌の外因性調節機序の1つを明らかにした点と、新たなTLRシグナル経路の可能性を示唆した点で、海外研究者より大変興味深い研究であると認めて頂きました。また、実験手法や詳細なメカニズムの解明、研究の臨床的意義等に関して討議することも出来ました。 他のセッションでの発表でも様々な知見を得ました。特にTransient receptor potential channelの気道での役割の報告は、我々の研究分野においても興味深いものでした。学会期間中、今後の研究を発展させる上でも有意義な時間を過ごせたと思います。 このような大変意義のある機会を与えて頂き感謝いたします。	
	 	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。